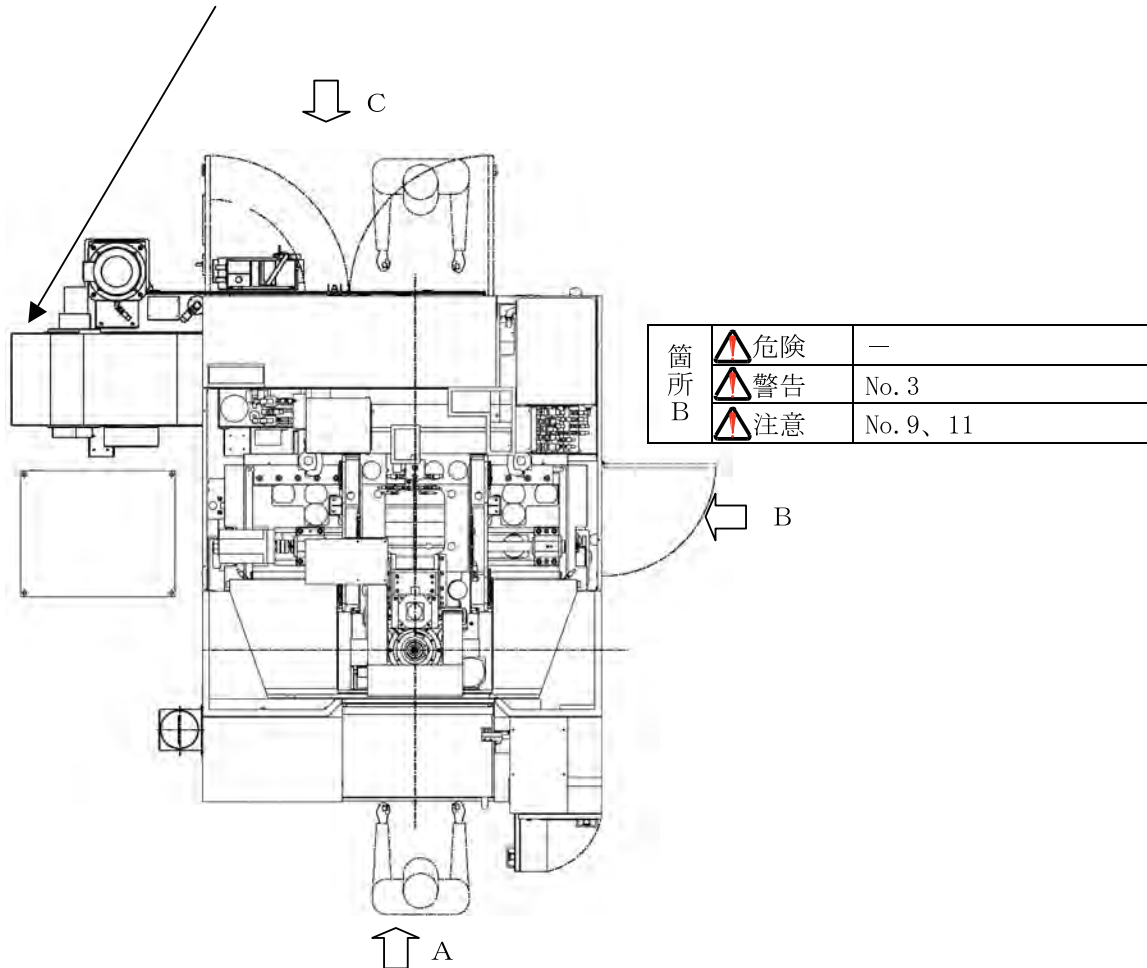


残留リスクマップ

箇所 C	⚠ 危険	—
	⚠ 警告	No. 26
	⚠ 注意	No. 8、10、16、22、23



箇所 B	⚠ 危険	—
	⚠ 警告	No. 3
	⚠ 注意	No. 9、11

箇所 A	⚠ 危険	—
	⚠ 警告	No. 1、2、4、5、6、7、28
	⚠ 注意	No. 14、15、17、18、19、20、21、23

場所を特定しない	
⚠ 危険	—
⚠ 警告	No. 27
⚠ 注意	No. 12、13、24、25

残留リスクマップの「No.」は、
残留リスク一覧の「No.」と一致しています。

作業者が危険源と接する可能性のある開口部が一覧できるように、真上から見た1枚の図（平面図）で示しています。

1枚の紙面でリスクマップを作成する場合、正面図や側面図のような作業者の目線に合わせて作成されたリスクマップも多いですが、このように平面図を用いることによって、1枚の図で表すことも可能です。